# 15 CSJ Chemistry Festa



日本化学会秋季事業 第15回 CSJ化学フェスタ2025

日本化学会秋季事業 第15回 CSJ化学フェスタ2025を、10月22日(水)~24日(金)の日程でタワーホール船堀にて開催します。今回も驚きの企画、参加してよかったと思っていただける企画が目白押しです。皆様お誘いあわせのうえ、奮ってご参加下さい。

## フェスタ企画

有料

#### テーマ企画

化学は様々な分野で科学技術の発展を牽引し、未来社会に向けたイノベーションの主役を担っています。テーマ企画では、多様な分野で新たな価値を生み出している化学技術や化学素材など化学に関わる研究開発の最前線から、化学の将来を担う学生に向けたチュートリアルまで、多岐にわたる多くの魅力的なテーマを企画しています。

- ●ここに来れば電池のすべてがわかる!
- 2 リサイクルの新時代~プラスチック資源循環のいま~
- 3 リサイクルの新時代~都市鉱山を発掘せよ!~
- ⁴カーボンニュートラルの切り札!アンモニア合成・利用技術の最前線
- ⑤バイオマス原料をフル活用する未来のものづくり
- 6賢い細胞、スマートセルの目指す世界
- **②**小さなエネルギーを大きな仕事に∼無機材料は見逃しません!∼
- ❸化学のスマートラボ化~Self-driving Lab.最前線~
- ♥おしてもだめならひいてみな!?~荷電π電子系が切り拓く未来~
- ⑩『フッ素』特有のキャラクターに迫る、そしてその先へ!
- ⑪地球発⇒宇宙行!宇宙探査を支える最先端高分子材料とは?!
- ❷未来材料の鍵を握る!最先端の分散技術と特性評価戦略
- ❸五感を化学する
- 億脳を化学する:化学のチカラで拓く神経科学
- 脳神経領域を知り、突破するファーマシューティカルケミストリー
- ⑯化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW
- **②**人生は自分で切り開くぞ!博士取得後のキャリアプラン
- 🔞 博士課程学生オーラルセッション
- ⁰次世代のイノベーションを導くミクロの印章~ナノインプリントの最前線~
- ∞地球にやさしいポリマーの研究開発最前線
- ②新モダリティが支える創薬と医療
- ❷化学で熱を操れ!~断熱・蓄熱・熱電変換の革新技術~
- ❷できぬなら、作ってしまえ新反応!新触媒!新技術!
- ②Let's Enjoy Chemistry!~From Japan to the World~ / 日本と世界で化学を楽しもう!

#### 産学官R&D紹介企画

産学官の諸機関の研究開発アクティビティを紹介します。 参加機関の様々なアピールを、見て、聴いて、お楽しみ下さい。

●R&D展示ブース ●ランチタイムセッション(講演)

#### 学生ポスター発表

3日間で約1050件のポスター発表が行われます。いずれのポスターでも産学官の研究者と学生の熱いディスカッションが繰り広げられ、今回も優秀な発表に対してポスター発表賞が授与されます。

# 公開企画

無料

#### 公開講座

●匂い?臭い?~化学とニオイ~

#### 2025ノーベル賞解説講演

今年のノーベル賞の内容を分かり易く解説します。

#### コラボレーション企画

各機関からの情報発信により産学官の交流深耕、連携促進の一助とすることを 目的として、コラボレーション企画を実施します。どの企画も参加者にとって興 味深く有益な情報が得られる場ですので、積極的にご参加下さい。

●産総研特別企画:

サーキュラーエコノミーの社会実装に向けた資源循環技術

- ②文科省科研費学術変革領域研究(A) 「天然物が織り成す化合物潜在空間が拓く生物活性分子デザイン」特別企画: 情報科学・ケミカルバイオロジー・有機合成化学の融合による生物活性分子創 出の試み
- ●地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)で推進する、大学の ビジョン達成に向けた取り組み
- 第12回 日英シンポジウム「Aquatic Chemical Science and Materials」The 12th CSJ-RSC Joint Symposium:

Aquatic Chemical Science and Materials

### 参加登録のご案内 https://festa.csj.jp/2025/

CSJ化学フェスタで実施する企画へ参加される方には

**有料・無料に関わらず参加登録**をお願いしています。ウェブサイトよりお申込み下さい。

 早期申込期間
 8月1日~9月11日
 通常申込期間
 10月1日~会期当日

 プログラム公開
 8月1日
 Web予稿集公開
 9月25日

#### フェスタ企画参加費 ※参加費はすべて税込価格です。

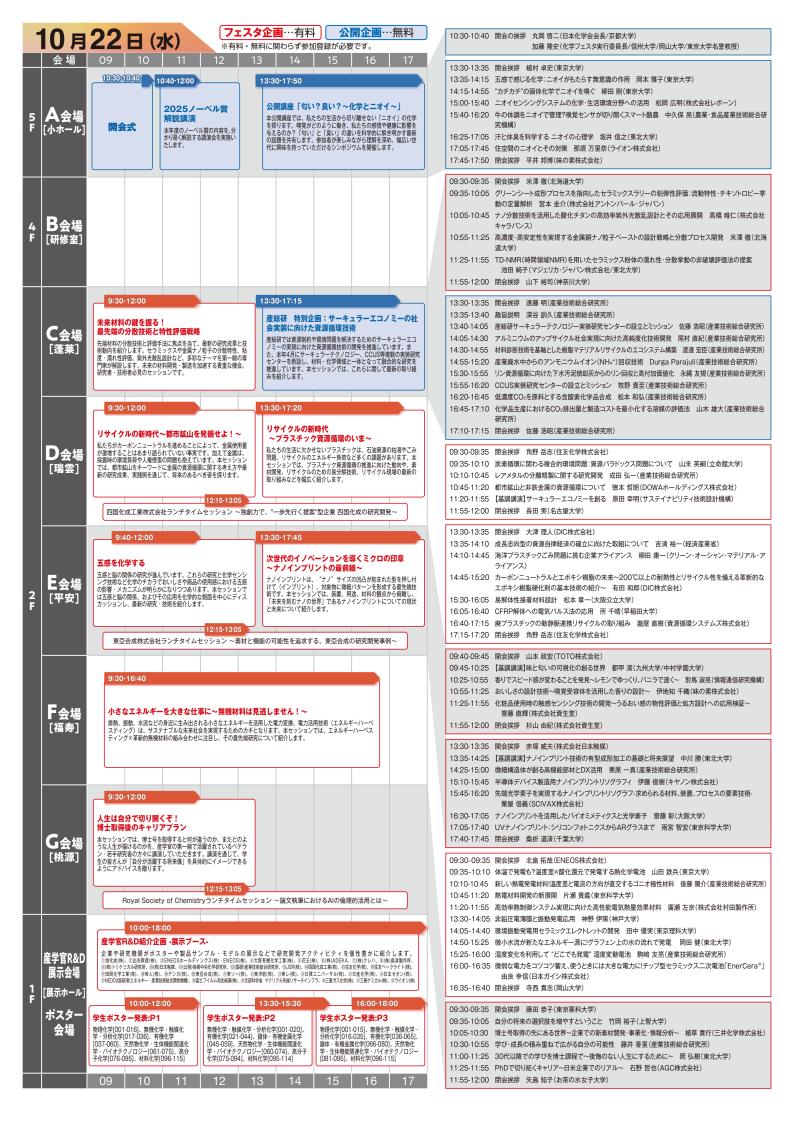
参加区分	正会員 <sup>*1</sup>	非会員	学生会員	非会員学生	ポスター審査員*2	プログラム集(冊子版)
早期	18,000円	30,000円	6,000円	8,000円	14,000円	2,500円
通常。	21,000円	33,000円	8,000円	9,000円	14,000円	購入不可

- \*1…個人正会員·教育会員·シニア会員および法人正会員企業に所属する方が対象です。 \*2…ポスター審査員の方について、審査日に限定して当日開催される企画に無料でご参加いただけます。
- 審査日以外の日程に参加される場合、参加登録をお願い致します。 \*3…通常申込期間のお支払い方法はクレジットカードのみとなります。
- \*4…参加費の課税区分は全て課税です

2025/10/22(Wed.)-24(Fri.) 会場 | タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀4-1-1)

主 催 ▮ 公益社団法人日本化学会

後 援 ▮ 文部科学省/独立行政法人国立科学博物館/国立研究開発法人科学技術振興機構/一般社団法人日本化学工業協会/公益社団法人新化学技術推進協会/ 国立研究開発法人産業技術総合研究所/国立研究開発法人理化学研究所/国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構/国立研究開発法人物質·材料研究機構/江戸川区



-	10月	23日 (木) フェスタ企画…有料 公開企画…無 ※有料・無料に関わらず参加登録が必要です。	料	13:30-13:35 開会挨拶 菊地 和也(大阪大学) 13:35-14:00 潜在空間を構築する生物活性データ取得法 菊地 和也(大阪大学)
	会場	09 10 11 12 13 14 15 16 17	18	14:00-14:25 天然物の化合物空間の視覚化と天然物探索研究への応用 人羅 勇気(熊本大学) 14:25-14:50 タンパク質特異的な化合物生成モデルの構築とタンキラーゼ阻害剤への応用 榊原 康文(北里大学)
		文科省科研費学術変革領域研究 (A) 「天然物が織り成す化合物潜在空間が拓く生物活性分子デザイ		14:50·15:15 Alとシミュレーションによる分子設計 大上 雅史(東京科学大学) 15:35·16:00 機械学習による抗生物質設計 清水 秀幸(東京科学大学)
5 F	▲会場 [小ホール]	特別企画:情報科学・ケミカルバイオロジー・有機合成化学の配 よる生物活性分子創出の試み 本セッションでは、深思学覧を担いた化舎物荘在学問の模案に基づく生物活性分子デザイン戦	16:00-16:25 分子内環化付加を用いた天然物様多環骨格の構築 横島 聡(名古屋大学)	
		新成果を発表します。天然物の桐腐砂な活性スクリーニングや情報科学を駆使した結婚分子の 法、新規生物活性分子の代学合成に関する知見を共有し、医薬シーズ分子開発への応用可能性 て議論を表めます。 (AlSの) を設立しました。本企画では、ARSのロマーテブイン作業や連	で提案手 性につい P連携機能 16:50-17:0	16:25-16:50 複雑分子の精密改変による構造多様化戦略 丹羽 節(九州大学) 16:50-17:00 閉会挨拶 菊地 和也(大阪大学)
		を活用して、産総研の研究開発成果を産業界と一緒に社会実験するための取り組みを紹介しま	<b>f.</b>	10:00-10:05 開会挨拶 田中 克典(理化学研究所) 10:05-10:35 この炭素をこの位置で繋げる触媒?! 丹羽 節(九州大学)
		10:00-18:00		10:35-11:05 反応開発からプロセス合成まで一連作業を全部フローで! 宮村 浩之(産業技術総合研究所)
4 F	B会場	できぬなら、作ってしまえ新反応!新触媒!新技術!		11:05-11:30 企業はどんな次世代合成技術を夢見る? 平田 泰啓(AGC株式会社) 11:30-12:00 πを切ったり繋げて新しい材料を作ろう! 福井 歳人(名古屋大学)
F	[研修室]	理想の分子や材料を自在に作ることができるなら、有機合成化学の分野から世界を変えることができるでしょう。もし 今の技術でできないのなら、新反応や新触媒、あるいは新コンセプトを自ら作ってしまいましょう!これに挑む12人 の講師の最先端のお話を伺います。		13:30-14:00 AIで新しい有機合成化学の世界を見よう! 隅田 真人(理化学研究所) 14:00-14:30 強く混ぜることから始める合成化学 伊藤 英人(名古屋大学)
				14:30-15:00 活性を駆動させ、制御せよ 細胞内有機合成化学 山次 健三(千葉大学)
				15:15-15:45 酵素が作れない生物活性分子を作ってしまおう! 南 篤志(東京科学大学) 15:45-16:10 引き出せ創薬化学の底知れぬパワー 佐藤 絵梨子(大塚化学株式会社)
		9:30-17:40		16:10-16:40 人工低分子触媒で超天然物を簡単に作ってしまう 塚野 千尋(京都大学)
	C会場	博士課程学生オーラルセッション		16:55-17:25 こんな変な形の超糖天然物が完成! 若森 晋之介(東京農業大学) 17:25-17:55 タンパク質のエナンチオマーを作って生体を騙す 大石 真也(京都薬科大学)
	[蓬莱]	本セッションは、化学フェスタでポスター発表する時に選罪学生に、普段の学会発表とは異なる。産業界を含めた異分野 の人へ自分の研究を口頭発気ではスケビールできる極を提出します。博士学をもかんとした、産学官の立場・世代を越え た交流を目指します。優秀な発表には「CSJ化学フェスタ博士オーラル賞」を授与します。		17:55-18:00 閉会挨拶 家裕隆(大阪大学)
				09:30-09:35 開会挨拶 早川 晃鏡(東京科学大学) 09:35-10:10 バイオマス活用の推進と展望について 栗田 徹(農林水産省)
		9:30-12:00 13:30-16:40		10:10-10:45 再生可能な植物資源あるいは二酸化炭素から微生物生産する生分解性高分子 柘植 丈治(東京科学大学)
		<del>-</del>     <del>-</del>     <del>-</del>     <del>-</del>     <del>-</del>     <del>-</del>     <del>-</del>     <del>-</del>	18:15-開場予定 18:00-	10:45-11:20 バイオエレクトロニクスの曙 ーセルロース・キトサン半導体(トランジスタ)、蓄電体(スーパーキャパシタ)ー 福原 幹夫(東北大学)
	D会場 [瑞雲]	バイオマスを直接活用する持続可能なものづくりの最前線を 紹介します。バイオマス素材から発見した特性を活かす新規 化合物を、非石油由来の原料から傑生物に合成させる「バイ		11:20-11:55 バイオマスから生分解性高吸水性ポリマーをつくる! 宇山 浩(大阪大学) 11:55-12:00 閉会挨拶 福村 知昭(東北大学)
		材料開発から製品応用まで、バイマス原料をアル活用する オものづくり」が注目を集めています。本セッションではス 技術の最新動向を幅広くカバーし、環境負荷低減やカーボン ニュートラルに向けた機能を、実例を交えて開催します。 はます。		13:30-13:35 開会挨拶 石渡 拓己(コニカミノルタ株式会社)
		12:15-13:05		13:35-14:25 【基調講演】スマートセルによるバイオものづくり産業革命と課題 油谷 幸代(産業技術総合研究所)
		ENEOSホールディングス(株)・ENEOS(株)ランチタイムセッション〜エネルギートランジションに向けた研究開発事例〜		14:25-14:55 微生物を利用した有用物質生産 蓮沼 誠久(神戸大学) 15:05-15:35 高機能な微生物の探索、および代謝制御 中島田豊(広島大学)
	<b>E</b> 会場 [平安]	9:30-16:45		15:35-16:05 微生物とコンピュータが協力するバイオプロセス制御 国田 勝行(藤田医科大学)
		脳を化学する:化学のチカラで拓く神経科学		16:05-16:35 高バイオマス生産性を有するコンプ便良株育成 佐藤 陽一(理研食品株式会社) 16:35-16:40 閉会挟拶 山口 和也(東京大学大学院)
2		最も複雑で高度に分化した臓器である脳を対象とした神経科学研究は、生命現象が次々と解明されている現在においても、最も複雑で顕極な顕版です。脳の機能を読み解さ、疾患・疾病の発症機能を解明し、治療への系しを探えためには化学のアローチが必要を可及です。水を置きては、様々な手法や健点から脳を化学・	交	09:30-09:35 開会挨拶 三好 大輔(甲南大学)
2 F		科学する研究者が一堂に会し、化学のチカラで切り拓く神経科学を熱く議論します。	流会	09:35-10:05     脳活動を可視化する化学     坂本 雅行(京都大学)       10:05-10:35     脳を透明化する化学     田井中 一貴(新潟大学)
		12:15-13:05		10:40-11:10 遺伝子工学も駆使し脳機能を解明する化学 清中 茂樹(名古屋大学)
		株式会社クレハランチタイムセッション~ナケレバ、ツクレバ 社員から見たクレハのR&D~		11:10-11:40 神経疾患を治療する化学 永田 哲也(東京科学大学) 13:30-14:15 【基調講演】脳の発生発達を科学する:化学物質の次世代への影響 大隅 典子(東北大学)
		9:30-11:45 13:30-16:45 [77素 特有のキャラクターに迫る。		14:15-14:45 核酸化学で拓く神経疾患治療 小泉 誠(第一三共株式会社) 14:45-15:15 アミロイト線維の生成・脱凝集を化学する 田中 元雅(理化学研究所)
	F 会場 [福寿]	るしてもためならびいてかな!! ~荷電π電子系が切り拓く未来~ そしてその先へ! ************************************		15:25-15:55 RNA顆粒による記憶の制御機構 椎名伸之(基礎生物学研究所)
		「電子系は、初しい電子」に関係されるともためた事業を 骨格です。本セツションでは、「管電」+「「電子系」をキー ーワードとし、荷電 π電子系からなる低分子および高分子系 フェボの体理性を深程し」。エッエキはよったのではなった。		15:55-16:40 【基調購演】夾雜系の有機化学で脳内分子地図を拓く 浜地 格(京都大学) 16:40-16:45 閉会挨拶 和田 健彦(東北大学)
	[]	材料に関する最新の話題を紹介することにより、これらの材 料の新業材としての可能性を探ります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		09:30-09:35 開会挨拶 岡本 敏宏(東京科学大学)
		12:15:13:05   株式会社島津製作所ランチタイムセッション 味わいに影響を与える成分の探索及び違いの可視化 ~ 「音楽醸造」が日本酒に与える影響~		09:35-10:05 荷電π電子系:新機能性を示す次元制御型集合体の開発 前田 大光(立命館大学)
		13:30-17:30		10:05-10:35 カチオンπ電子系:積層様式の制御を通じた電荷キャリア輸送の新戦略 村井 征史(名古屋大学) 10:40-11:10 ドープされたπ共役系高分子:イオン分子を用いた構造・機能の超精密制御 山下 侑(物質・材料研究
		新モダリティが支える創業と医療		機構(NIMS)) 11:10-11:40 自己ドーブ型導電性高分子:高導電性を示す有機エレクトロニクスの鍵材料 箭野 裕一(東ノー株式会社)
	<b>G</b> 会場 [桃源]	モダリティ (modality) とは、治療手段の種別のごとを指 し、低分子医薬、抗体医薬、植酸医薬、細胞治療がその代表 例です。化学を基準に開始された新たとモダリティは、創業		11:40-11:45 閉会挨拶 前田 治彦(住友ベークライト株式会社)
		と医療の発展を可能にします。本セッションでは、様々なア フローチで開発されている新モダリティに関する最先端の研 究成果を紹介します。		13:30-13:35 開会挨拶 中村 修一(名古屋工業大学) 13:35-14:10 有機フッ素化合物の物性を「分子集合」で紐解く 長谷川 健(京都大学)
		12:15-13:05		14:10-14:45 ミリ波レーダーを支える低誘電・低熱膨張材料~フッ素樹脂が切り拓く高周波の未来~ 田中 義人(ダイキン工業株式会社)
		日本ゼオン株式会社ランチタイムセッション ~つながって起こそうカガク変化を~		14:45-15:20 フッ素ゼロでもここまでできる!~撥油性と透明性を両立する新世代表面処理技術~ 穂積 篤(産業技術 総合研究所)
		10:00-18:00		15:30-16:05 フッ素系・非フッ素系界面活性剤が実現するマイクロエマルションの世界 鷺坂 将伸(弘前大学)
	産学官R&D	産学官R&D紹介企画・展示プース・ 企業や研究機関がボスターや製品サンブル・モデルの展示などで研究開発アクティビティを個性豊かに紹介しま ①他位成別、②世界機関制、②世界機関制、1915の3十ルティングス(制)・ENEOS(権)、②大阪有機化学工業(制)、③在王(制)、④(核)ADEKA、②(核)カンド、④(核)為非核	16:05-16:40 エチレンが超集まると、フッ素樹脂の代わりになります! 齋藤 奨(三井化学株式会社) 16:40-16:45 閉会挨拶 橋詰 峰雄(東京理科大学)	
	展示会場	②(由)トリアミカル研究、③(相)日本経滅、③(公前/指揮中央化学研究、③(国前)産業技術総合研究、③(SSN株)、④四国化は工業機、⑥住五代学機、⑥住五代学方() ◎田田化学工業機、多の人様、過テンカ(株)・海至白金成株)、③東ント(権)、《東京権人、③東ノ株)、過日ユニハーサル(権)、⑥日主ゼン、 ※日本日に加藤衛エネルギー・産業技術経営機能制、衛エンドルルの抵抗機能制、※2知経行者、マデリア系化ガリケーディンフラ、企業大力大学機、心差テンルが成、当で入れ	ト(株)、 /(株)、	13:30-13:35 開会挨拶 伊藤 博之(東ソー株式会社)
1 F	[展示ホール]	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00		13:35-14:20 【基期講演】化学を基盤としたmRNAの分子設計法と医薬応用 阿部洋(名古屋大学)
	ポスター 会場	学生ボスター発表:P4         学生ボスター発表:P5         学生ボスター発表:P6           無限化学・触媒化学・分析化学[001-020]、         物理化学(001-024)、無限化学・触媒化         無限化学・機媒化学・分析化学[001-026]、	0201	14:20-14:50 修飾核酸MCEを利用した核酸創業プラットフォーム 菊池 正峰(日産化学株式会社) 15:00-15:45 【基調講演】ポリマーバイオマテリアルによる医療への貢献 石原 一彦(大阪大学)
	五物	環域に子・放路に子・が向に子(10)・1424)   精神に子(10)・1424   黒板に子・放路に子・放路に子・放路に子・が向に子(10)・1424   基本・高機能量能子   (045-074) - 天然物に字・1244   天然物に字・1244   大成物に字・1244   大成物に字・1244   大成物に字・1244   大成物に字・1244   大成物に字・1244   大成物に字・1244   大成物に字・1244   大成りに   (045-074) - (147-074) - (147-074)   (045-074) - (147-074)   (045-074) - (147-074) - (14	属化学 関連化	15:45-16:15 均一な細胞塊を大量かつ簡便に形成可能なパターニング培養プレート 門田 純平(東ソー株式会社) 16:25-16:55 スマートポリマーで拓くグローバルヘルス 荏原 充宏(物質・材料研究機構(NIMS)/SPHinX株式会社)
		キ・バイオデン ロンー10000741、高カナ   キ・バイオデン ロンー1075-0941、材料   キ・バイオデン ロンー10000741、	1977 T	16:55-17:25 人体組織を透過して明るく光る手術用ガーゼの開発 安藤 慎治(東京科学大学)
		09   10   11   12   13   14   15   16   17	18	17:25-17:30 閉会挨拶 池田 将(岐阜大学)

	10月	7ェスタ企画…有料     公開企画…無料       ※有料・無料に関わらず参加登録が必要です。     12     13     14     15     16     17	09:30-09:35 開会挨拶 仁科 勇太(岡山大学) 09:35-10:05 奈良先端大のJ-PEAKS取り組みと化学業界 藤井 幹也(奈良先端科学技術大学院大学) 10:05-10:35 グリーン水素研究拠点新設をプレイクスルーとする山梨大学の研究力強化の試み 鈴木 美季(山梨大学) 10:40-11:10 J-PEAKSを通じたアクア・リジェネレーション機構の信州発ヴロー/ソル拠点化に向けて 土井 達也(信
	A - 33	9:30-12:00 13:30-17:55 第12回 日英シンボジウム [Aquatic Chemical Science and Materials]	州大学) 11:10-11:40 J-PEAKSを活用した大学経営改革〜地域と地球の未来を共創する研究大学を目指して〜 河本 雅紀(阿山大学) 11:40-12:00 パネルディスカッション ファシリテーター:山本 聖二(阿山大学)
5 F	<b>人</b> 会場 [ホホール]	成に向けた取り組み 本セッションでは、日本学術振興会が実施する地域中核・特色あ る研究大学館代配達事業(JPEAKS)をテーマに、広く化学園 近の研究開発や、研究組合支援、大学の制度を変をだこいって、 JPEAKS採択大学が発表を行い、参加者のみなさまにて情報交 換、講義を造じて、今後の各大学のビジョン実現に向けてソウハ ワの共和や新たな視点機得、連携の模素を行います。	Opening Remarks by Guest Organizer Takashi Kato (Shinshu Univ./Okayama Univ./Univ. Tokyo)     Nano-confined Water: Understanding Behavior in Biological and Environmental Contexts Susan Perkin (Univ. Oxford)     Aquatic Functional Materials: Harmonizing with Water for Sustainable Applications Takashi Kato (Shinshu Univ./Okayama Univ./Univ. Tokyo)     Polymers of Intrinsic Microporosity: Advancing Membrane Technologies for Aqueous Separations Sustainable Applications Peter Budd (Univ. Manchester)
4 F	<b>B</b> 会場 [研修室]	9:30-11:50  化学で熱を操れ!  ~ 断熱・蓄熱・熱電変換の革新技術 ~  熟エネルギーは、自然界のみならず産業や可能さからも大量に 排出されますが、制御が難し、丹用川外回離なエネルギーです。 本セッションでは、断除・蓄熱・熱電変換などの分野で化学がど のように新技術を提供し、熱エネルギーの効率的な利用を可能に するかについて解説します。	14:55-15:20 Understanding Water-Mediated Interactions at Soft Material Interfaces for Biomedical Applications Masaru Tanaka(Kyushu Univ.) 15:40-16:05 Advanced Infrared Spectroscopic Techniques for Investigating Water-Polymer Interactions Yuka Ikemoto (Japan Synchrotron Radiation Res. Inst.) 16:05-16:30 Integrating Advanced Oxidation Processes in Water Treatment: Addressing Emerging Contaminants Linda Lawton(Robert Gordon Univ.) 16:30-16:55 Water-Mediated Crosslinking for Designing Tough and Adaptive Polymer Networks Yoshinori Takashima (Osaka Univ.) 16:55-17:20 Stimuli-Responsive Polymer Assemblies in Water: Towards Smart Aquatic Materials Remzi Becer (Univ. Warwick) 17:20-17:45 Chemosensor Arrays for Aqueous Environments: A Supramolecular Approach Yui Sasaki (Univ. Tokyo) 17:45-17:55 Closing Remarks Andrew Shore (RSC), Mitsuo Sawamoto (Chubu Univ.)
ı	<b>C</b> 会場 [蓬莱]	9:30-12:00  Let's Enjoy Chemistry!	09:30-09:35 開会挨拶 北 憲一郎(産業技術総合研究所) 09:35-10:05 遮熱・断熱制御に向けたクロモジエニック材料の研究開発状況 垣内田 洋(産業技術総合研究所) 10:05-10:35 サイクル耐火性に優れたGの/HJの系代学事務材の開発と応用 山内 崇史(株式会社豊田中央研究所) 10:45-11:15 可逆化学反応を利用した蓄熱・ヒートボンブ技術 窪田 光宏(名古屋大学) 11:15-11:45 新材料を用いた熱電モジュールの高性能化 森 孝雄(物質・材料研究機構(NIMS)) 11:45-11:50 閉会挨拶 池本 晃喜(東京大学)
ı	D会場 [瑞雲]	but also global stage of chemistry. The international academic and industrial researchers who have devices international career wile jose pocali invited talks including their research work, motivation, and advice for you.  9:30-17:00  - ここに来れば電池のすべてがわかる! 電影研究開発の最新線として、リチウムイオン電池を中心に全固体、宇宙用電池、材料開発、電池人材教育などワクワクす	09:30-09:35 Opening Remarks Yuya Oaki (Keio University) 09:35-10:05 Broadening the Spectrum as a Materials Scientist~From Ph.D. at the Max-Planck to AIST~ Shiori Kubo (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)) 10:05-10:30 My Life in Japan: A Journey through Academic Growth and Polymer Science Nalinthip Chanthaset (Nara Institute of Science and Technology) 10:40-11:05 From Manga to Patents: My Journey in Japan and the Power of Ideas Weerasamorn Maekawa (Mitsui Chemicals, Inc.) 11:05-11:30 Five Things I Learned from My PhD Studies in US Hongyao Zhou(The University of Tokyo) 11:30-11:55 Amino Acids Ingredients for Personal Care ∼My Working Journey with Ajinomoto∼ Min Ley Pua (Ajinomoto Co., Inc.) 11:55-12:00 Closing Remarks Masato Ikeda (Gifu University)
	[-10/24]	る内容を紹介します。正極が、負務例、電筒質、計算科学、製造方法、評価技術など、1日聴請すれば電池関連の基礎から 最新動向について理解できるように構成しています。 9:30-16:50	13:30-13:35 開会挨拶 田中 敬二(九州大学) 13:35-14:10 海の微生物を味方に:プラスチックを生分解させるための新戦略 粕谷 健一(群馬大学) 14:10-14:45 海洋生分解性ポリマーの現在と未来 大倉 徹雄(株式会社カネカ) 14:50-15:25 深海のプラスチックごみ汚染と海にやさしい透明な板紙 磯郎 私之(海洋研究開発機構) 15:25-16:00 天災窒素を活用する細菌による生分解性プラスチック素材の生産 橋本 渉(京都大学) 16:05-16:40 マデリアルリサイクルにおける樹脂添加剤の役割と機能 関域 直樹(株式会社ADEKA) 16:40-17:15 安定樹脂のケミカルリサイクルを拓く 南 安規(産業技術総合研究所) 17:15-17:20 閉会挨拶 田中 敬二(九州大学)
2 F	E会場 [平安]	脳神経領域を知り、突破するファーマシューティカルケミストリー 創業モダリティが多様化する現在、脳神経領域は完隆の創業ターゲットと言えます。クスリを届ける最大の障壁となる Blood-Brain Barrier (BBB) を知る技術。多様なモダリティを送達する技術の進化と実用化されている脳神経領域の最 先端治療を幸び、化学を駆使した治療技術の未来を探ります。 12:15-13:05 花王株式会社ランチタイムセッション ~科学の限で "わからない" を価値に変える 解析研究~	□9:30-09:35     □9:35-10:10     該産省が進める電池技術の人材教育について 園見 哲平(経済産業省)     □0:10-10:45     □グロ・10:45     □グロ・10
	F会場 [福寿]	13:30-17:20   地球発→宇宙行!   デ語探査を支える最先端高分子材料とは?!   「次元性」は物質・材料の機能や物性を譲論する上で極めて重要	09:30-9:35 109:35-10.05 ペプチドミクスとプロテオミクスで血液脳間門を知り、突破する 大槻 純男(熊本大学) 10:05-10:35 ヒト生体模倣血液脳関門モデルの開発とその脳疾患治療薬開発研究への実装に向けた取り組み 障幡 知巳(東京業科大学) 10:40-11:10 サル初代培養細胞を用いた薬物の血液脳関門透過性評価法の開発 維原 洋之(東京大学) 11:10-11:40 患者にやせい配雑経疾患治療を市のしたNose-to-Brain型核酸ナノDDSの開発 金沢 貴憲(徳島大学) 13:30-14:00 中枢神経系薬の開発:薬剤のヒト血液脳関門の透過性をどう評価すべきか? 松崎 典弥(大阪大学) 14:30-16:30 抗体体部能質ナン財子の製造プロセス構築に向けて 権本 正寛(AGC株式会社) 15:15-15:45 アルツハイマー病を治療する抗体医薬 新留 徹広(エーザイ株式会社) 15:45-16:15 点酸剤の製剤設計 松本 直樹(参天製薬株式会社) 16:15-16:45 視覚再生に向けたAAV遺伝子治療の開発 柳澤 祐樹(株式会社レストアビジョン) 16:45-16:50 閉会挨拶 高村 浩由(阿山大学)
ı	<b>G</b> 会場	9:30-11:50  化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW 自分の研究や仕事の成果を正しく評価してもらうためには、高度 な内容でもかりやすく、また注目され、外に向げて発信するこ	09:30-09:35 開会挨拶 一川 尚広(東京農工大学) 09:35-10:10 月面探査船内のCO-分離・除去を実現する腰分離装置の開発 星野 友(九州大学) 10:10-10:45 宇宙環境に適応する有機・無機のハイブリット材料の開発 本本 雄吾(宇宙航空研究開発機構) 10:45-11:20 宇宙でも使えるリチウムイナン電池の開発 石川 正司 (関西大学) 11:20-11:55 透明・超軽量エアロゲルと関連材料の展開: 宇宙材料から広がる可能性 早瀬 元(物質・材料研究機構(NIMS)) 11:55-12:00 閉会挨拶 沼田 圭司(京都大学)
		とが重要です。本セッションでは、より分かりやすいグラフの見せ方やスライトの構成などの見せ方など、ブレゼンテーションを能力的にする様々な方法と、誠文執筆から掲載までの流れを講師の先生方に紹介していただきます。  10:00-18:00	13:30-13:35 開会挨拶 赤松 寛文 (九州大学) 13:35-14:10 化学のスマートラボ化: 入門編 清水 亮太 (自然科学研究機構) 14:10-14:45 化学のスマートラボ化: 基盤編(ラボノート) 藤井 幹也 奈良先端科学技術大学院大学) 14:45-15:20 化学のスマートラボ化: 基盤編(センサー) 伊藤 敏雄(産業技術総合研究所) 15:30-16:05 無機機能材探索のスマート化 藤木 憲次郎(東京理科大学) 16:05-16:40 新薬探索のスマート化 根末 賢二(アステラス製薬株式会社) 16:40-17:15 新菜探索のスマート化 武井 祐樹 (畑化成株式会社) 17:15-17:20 閉会挨拶 佐藤 弘一(株式会社プリヂストン)
1 F	産学官R&D 展示会場 [展示ホール]	産学官R&D紹介企画 -展示プース- 企業や研究機関がポスターや製品サンブル・モデルの展示などで研究開発アクティビティを個性豊かに紹介します。 ①単位成例、2世界層談、3ENEOSホールディングス(時・ENEOS(株)、6元素育を生ま場)。6元正統)6年2日に36年2月1日に10日に40円の10	09:30-09:35 開会挨拶 廣原 志保(沖縄工業高等専門学校) 09:35-10:05 効果的なブレゼン資料のビジュアルデザイン 田中 佐代子(筑波大学) 10:05-10:35 体感して上達するブレゼン技術 三輪 佳宏(理化学研究所/筑波大学) 10:45-11:15 英語ブレゼン術 ラウレアン イリエシュ(理化学研究所) 11:15-11:45 Finding your voice~自分らしい文体で書く論文を通じて、化学の社会への発信~トマス モーガン・レスリー(慶応義塾大学) 11:45-11:50 閉会挨拶 鳥居 肇(静岡大学)
	ポスター 会場	学生ポスター発表:P7         無機化学・触媒化学・分析化学         学生ポスター発表:P8         物理(学)001-020)、無機化学・触媒化学・分析化学 (001-020)、有機化学・地域化学・分析化学 (001-020)、有機化学・(001-025)、有機化学・(001-025)、有機化学・(001-025)、有機化学・(001-025)、有機化学・(001-025)、有機化学・(001-025)、有機化学・(001-025)、有機化学(001-025)、有機化学(001-025)、有機化学(001-025)、有機化学(001-025)、有機化学(001-025)、有機化学(001-025)、有機化学(001-025)、相关(001-0	13:30-13:35 開会挨拶 浦崎 浩平(千代田化工建設株式会社) 13:35-14:10 燃料アンモンア利用技術の研究開発動向 廣瀬 聡(東洋エンジニアリング株式会社/一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会) 14:10-14:45 再エネ水素からのアンモニア合成触媒およびプロセスの開発 難波 哲也(産業技術総合研究所) 14:45-15:20 常温常圧で進行するグリーンアンモニア合成法の開発に向けて 西林 仁昭(東京大学) 15:30-16:05 アンモニア艦解技術の開発 菊地 隆司(北海道大学) 16:05-16:40 アンモニア燃焼技術の開発 岡田 卓哉(株式会社IHI) 16:40-16:45 閉会挨拶 小柳津 研一(早稲田大学)